

## 埼玉 NGO ネット 勉強会

2017年6月21日(水) 10:00-11:00

(認特) 国際協力 NGO・IV-JAPAN 飯村 浩

『ラオスの貧困と職業訓練での技術習得による生計向上』

### 内 容

- ラオスの概要
- IV-JAPAN について
- ラオスの教育システム
  - フォーマル教育とノンフォーマル教育
- IV-JAPAN の職業訓練プロジェクト
- プロジェクト成功のカギと持続性
- 今後の活動

### ラオスの概要

『東南アジア特有の貧しさ・ラオスの貧しさとは?』

- 食べ物がある：悲壮感が少ないが、お金はない
- インフラの整備が遅れている：情報が遅い
- 自国の工業生産物が少ないため、ほとんどの日用品が輸入：物価が高い
- 学校教育制度が脆弱、特に教師の質が高くない：国力が上がらない
- 働く場所が少ない：被雇用者として現金収入を得にくい  
(被雇用者としては、公務員！しかし、高い学歴が必須)

### ラオスの教育システム：フォーマル教育とノンフォーマル教育

【フォーマル教育】通常の教育

小学校→中学→高校→大学、大学院  
→専門学校、高専（ポリテクニク）

【ノンフォーマル教育】起源：フォーマル教育を受けていない大人

- 識字教育（読み書き、計算など）
- 職業訓練

特徴：入学条件は、ラオス語を理解力し、読み書きができること  
→ラオス人なら、ほぼ誰でも学ぶことができる。。。

### IV-JAPAN の職業訓練プロジェクト

- ①訓練分野：調理、縫製、理美容、木工家具製作
- ②訓練期間：初級コース 3ヶ月  
中級コース 3ヶ月  
上級コース 6ヶ月（木工のみ4ヶ月）

③訓練の特徴：

- 初級・中級コース：訓練で必要な技術を身につける
- 上級コース：調理・縫製・理美容 On The Job Training (OJT 店舗)  
：木工分野（訓練→注文家具製作→デザイン家具→インターン）

④C/P ラオス政府機関と共同でプロジェクトを実施→持続可能性

なぜ、この4分野なのか？

- 就職より、起業を推進（地方出身者・学歴が不十分など）
- 比較的起業しやすい（少ない投資で起業が可能）
- 地方でも、需要があるビジネス分野
- 1年以内で習得が可能
- 地方出身者に人気がある訓練分野
- フォーマル職業教育にも同じ専攻がある

⑤成果

- 高い就業率：概ね7割以上
- プロジェクト終了後：ハンドオーバーは、ラオス政府機関により運営
- カリキュラム、教科書  
フォーマル教育との互換性→フォーマル職業教育学校への進学が可能！
- 地方のノンフォーマル職業訓練センターのトレーナーを育成

プロジェクト成功のカギと持続性

- ①C/P ラオス政府機関と共同でプロジェクトを実施
- ②C/P に、トレーナー人材育成
- ③日々の訓練+スタディーツアー+専門家による特別訓練+インターン  
+ヘアカットボランティアやケータリング、イベント参加、技能コンテスト等  
→本当に使える技能の習得
- ④カリキュラムの策定=フォーマル教育との互換性→進学への希望！
- ⑤教科書の策定：ハンドオーバー後も訓練レベルを維持。地方の訓練レベルも UP
- ⑥地方にトレーナーを育成
- ⑦OJT、家具販売：ハンドオーバー後の訓練コース実施のための資金

今後の活動

- ①フォーマル職業教育の木エトトレーナー技能レベルアップ（JICA 草の根パートナー）  
-フォーマル、ノンフォーマル職業分野トレーナー=フォーマル職業教育校卒業生



技能、指導レベル向上



卒業生=優秀な新トレーナー

- ②ホスピタリティー・介護分野の職業訓練（外務省 NGO 連携無償資金協力）

-現在、申請書を作成中

以上